

CAMPUS COMMUNICATION

CELERY

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 広報誌【セロリ】

2014

1

January

No.90

第47回 霜月祭

【特集】

元気いっぱいの冬にしよう！

中村学園は
おかげさまで
60周年

60th
Anniversary
1954-2014



スチューデントジョブ制度 運営スタッフ

落 千香子さん

中村学園大学 流通科学部3年生

竹原 友紀さん

中村学園大学短期大学部 キャリア開発学科2年生

学内の業務に携わることで身に付いた
責任感と仕事の大切さを
就職活動に活かしたい。

昨年4月よりスタートしたスチューデントジョブ制度。大学内のさまざまな活動で学生が行える業務を「有償ボランティア」として修学支援する、就業体験に基づく人材育成を目的とした制度です。

キャリア形成や社会人としてのマナー習得に役立つと思い活動を始めた、落さんと竹原さんにお話を伺いました。

大学と学生を結ぶ 運営スタッフとして奮闘中

スチューデントジョブの魅力の一つは、授業の空き時間を有効に使える点です。ほんのわずかな時間を無駄にせず学内の業務に携わることができ、しかも賃金が支給されるという、大学のためにも自分のためにもなる制度です。また、学内で働けるため、保護者にも安心していただけるのも大きな特徴です。学生寮は深夜のアルバイトが禁止されているのですが、スチューデントジョブは遅くとも夜10時までに業務が終わるので、寮生にとっても働きやすい制度になっています。

に、交流会を定期的に開いて、より良い制度に発展するように、積極的に意見交換を行いたいと考えています。また、大学側から求人をもっとたくさんもらえるように運営側である私たちが大学に働きかけていくことも大切ですね。業務の件数を増やして、この制度を周知していくことも運営スタッフの役割の一つです。

まだ私たち二人とも働き始めて間もないですが、スチューデントジョブに登録する前と今とでは、明らかに意識が変わったと実感しています。責任感が強くなったと思いますし、何より社会人として働くことへの不安が和らぎました。大学のため、自分のためにこれから頑張ります。

CONTENTS

01

チャレンジするナカムラ生
スチューデントジョブ制度 運営スタッフ

03

第47回・霜月祭レポート

05

【特集】

元氣いっぱい冬の冬にしよう！

・冬の健康管理
・冬のおすすめ料理

07

活躍する卒業生

この制度での働き方は、「登録をして働く」側と「運営」側の二つに分けられます。私たちは後者の運営スタッフです。大学の担当者からメールで送られてくる求人（業務内容）を登録している学生に配信し、大学と学生を繋ぐ役割です。メール処理や学生のスケジュール管理に始まり、月末は賃金の処理までを行います。個人情報扱いですので、責任は重大。ミスがないように慎重に業務を遂行するよう心掛けています。このような意識が芽生えたおかげで、社会人としてのマナーや心得が自然と身に付いている気がします。

登録した学生は、さまざまな業務の求人に応募して、採用になれば働くことができます。求人は式典の準備や運営など、短期のものから長期に亘るものまでありますが、どの仕事もやりがいがあり他の学生や教職員と交流を深めながら作業ができるので、みんな楽しく働いています。

今後の課題は山積み 一つずつクリアしていきたい

現在のスチューデントジョブの登録者数は約600名。これを7名の運営スタッフで管理しています。まだ始まって間もない制度ですので問題もあります。春になれば新入生が入学し、ますます登録者数が増えることが予想されますが、マニュアルを構築しながら、手探りの状態で前に進んでいるので、新入生とも情報の共有ができるように業務の効率化を図っていくことを目標としています。そして、学生の意識を高めていくことも今後の課題だと思っています。例えば時々、当日になつて急に仕事をキャンセルする学生がいたりするため、まずは、スチューデントジョブの一員であることを自覚してもらうことが必要だと考えています。そのため

《より充実した制度にすべく奮闘する運営スタッフ》



運営スタッフは働く時には必ず、お揃いのウェアを着て団結力を高めている。デザインももちろん学生たちによって考えられたもの。



登録用紙を渡したり、データ入力をしたりと、授業の合間をぬって業務に携わっている竹原さん。「いろいろな学部・学科の学生と触れ合えて楽しいです」。



登録している学生の賃金処理は責任重大。「今後のためにもなるので勉強になっています」と、蒔さんは真剣な表情でパソコンと向き合う。

CELERY

中村学園大学・中村学園大学短期大学部
広報誌【セロリ】2014.1 January No.90



08

わがゼミ案内

栄養科学部 栄養科学科
大和 孝子ゼミ

09

クラブ&サークル

学友自治会執行部

10

平成26年度

入試結果・お知らせ

11

EVENT and NEWS

・学内外のイベント
・教員の出版物 他

霜月祭

47th
Shimotsuki Festa

11月

1日
Fri

2日
Sat

3日
Sun

楽しさ満載！

中村パワーあふれる学園祭開催！！

昨年の11月上旬、煌々Let's do it our wayをテーマに、熱気に満ちた「霜月祭」が開催されました。今回も、たくさんの模擬店をはじめ、学生たちの歌やダンス、作品展示、ミスキャンパスコンテストなど、楽しいイベントで大盛り上がり。学生たちの絆が深まった3日間となりました。



模擬店紹介 (グラウンド)

3日間に亘ってグラウンドには多くの模擬店が出店され、子どもからご年配の方まで、いろいろな味を楽しまれました。

〈豚汁〉

流通科学部の片山ゼミが販売しているのは豚汁。「片山ゼミで先輩から先輩に受け継がれている味」と語る小島知樹さん（流通科学部3年生）。「伝統の味を今年も作ることができて良かったです。とても売れていますよ」。



具だくさんののに
価格が安いのがウリ!



100円

〈タピオカ〉

女性に人気のタピオカを販売しているのは食物栄養学科森脇准教授のクラス。タピオカに合うクレープも200円で販売しています。味にはとことんこだわりました」と小川実紗さん（食物栄養学科1年生）。



クレープとセットで買う
女性が多いとのこと



150円

〈チョコロス〉

バドミントン同好会による屋台。「想像以上の人気です。3日間で700個を目標にしていますが、なんとか達成できそうです」と語るのは依真穂さん（教育学部2年生）。「いつものチームワークで頑張っています」。



チョコロスはラテン
アメリカ生まれの焼き菓子

150円

〈かしわおにぎり〉

試作を重ねて完成させたかしわおにぎりを販売しているのは食物栄養学科内田ゼミのメンバー。「しょうゆベースで具材を煮込み、味をしつかり染みこませた自信作です」と岩永美生さん（食物栄養学科2年生）。



自慢の味は、幅広い
年齢層に人気!

120円(2コ)



「夏祭りで告白」
では全員が浴衣
で頑張りました。



勢揃いした7人の中村美女

グランプリに選ばれた井上麻由さん



恒例の「ミスキャン」。今年は7名の美女たちがエントリーして、それぞれの個性と美しさ、そして中村らしさを競いました。最初の審査企画は「夏祭りで告白」。浴衣姿で、彼氏に告白するというシチュエーションで、全員が照れながら演技を行いました。そして最終審査は定番のウエディングドレス。7人がそれぞれお気に入りのドレスで登場すると、場内からはひととき大きな歓声が上がっていました。

今年のミスキャンパスに輝いたのは、流通科学部2年生の井上麻由さん。選ばれた時は「みなさきれいだっただけで、私が選ばれるなんて...。とても嬉しいです」と、感激の涙を流しながらコメント。最後はカメラににっこり笑顔を見せてくれました。

N-1グランプリ (野外ステージ)



今年は7組が登場した中村ナンバーワンのお笑いを決める、N-1グランプリ。お笑い自慢の学生が大集合、会場に詰めかけた観客を笑いの渦へ巻き込みました。

It's show time (野外ステージ)



3日間に亘って野外ステージで行われた音楽イベント。軽音楽部や和太鼓部が日頃の練習の成果をいかに発揮し、熱いステージを見せてくれました。

チャリティバザー (学友会館)



地域の方々にお願ひして古着や陶器などの不要品をいただき、来場者に販売。売上金は城南区福祉協議会などに寄付させていただきました。

演劇 (学友会館)



演劇同好会が「巡るめぐり」というタイトルで第27回目となる公演を開催。学生たちの熱演に観客も惹き込まれていました。

作品展示 (体育館)



体育館では、書道部と華道部による作品展示が行われ、見応えのある作品が並びました。訪れた方は学生の力作に見入っていました。

お茶会 (学友会館)



裏千家茶道部によるお茶会。静けさが漂う中、一般の方、他大学の茶道部の方など、多くのお客さまをおもてなししていました。



【理事長賞(フードバザー部門)】

- ▶ 第1位 / 薬膳・食育ボランティア同好会(薬膳カレー)
- ▶ 第2位 / 国際交流会(麻婆豆腐丼)
- ▶ 第3位 / 小田ゼミ(アップルパイ)

【学長賞(展示・ステージ部門「中村ミュージアム」)】

- ▶ 第1位 / 古賀(和)ゼミ(ダンボール遊び)
- ▶ 第2位 / 井上ゼミ(プラバン遊び ※プラスチックを溶かして作品作り)
- ▶ 第3位 / 書道部(展示)



元気いっぱい冬の冬にしよう！

冬の健康管理



栄養科学部
津田 博子 教授

**寒い冬に負けないために、
体をケアするコツをつかみましょう。**

冬真っ盛りですが、皆さんいかがお過ごしですか。なんとなく「力が入らないなあ…」という方、いらっしゃるいませんか。そんな方は体の免疫力が下がっている可能性があるので要注意です。風邪をひかない強い体を作るために、健康管理を徹底しましょう。今回は、現在蔓延している風邪ウイルス、中でもインフルエンザウイルスを寄せ付けない強い体を作る秘訣などをお話しいたします。

ポイント1 「うがい」と「手洗い」は「こまめに行うこと」

皆さん、うがいの重要性は認識していると思いますが、とにかく、こまめに行うことが大切です。外から帰って来た時にはもちろん、移動の合間にするのも効果的です。お茶でうがいをするとか、イソジンを使うと良いとか、さまざまな説がありますが、無理なく頻繁に続けることが大切なので、水道水でも構いません。

また、うがいの際には必ず手洗いもセットで行いましょう。手指に付いたウイルスを洗い流すのは、感染防止に大変有効です。石けん液を泡立てながら、手の平、手の甲、指の間、指先、手首を丁寧に揉み洗いし、水道水でよくすすぎ、しっかりと乾かすことが大切です。手洗いのタイミングは、帰宅時・トイレの後、食事の前ですが、咳やくしゃみを手で押さえた後、他の人に移さないために必ず手洗いしましょう。石けんと流水が使えない場合は、アルコール系の手指消毒薬を利用できます。

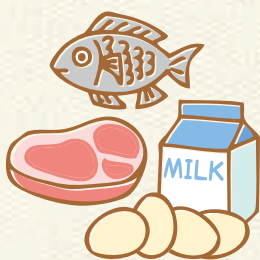


ポイント2 「動物性たんぱく質」を多めに

体が低栄養状態に陥っていると風邪をひきやすくなります。ウイルスは体の細胞の中に入ってくるもので、栄養が足りていないと免疫力が下がり、それが入り込みやすくなってしまいます。さらに、インフルエンザの場合は、肺炎や脳症などの重症な合併症を起こすことがあります。こうならないためにはまず、「ウイルスに外敵に攻撃されない体」を作ることから始めましょう。重要なのはちゃんと食事をして栄養をしっかりと摂ることです。

特に冬に摂りたい栄養素は「たんぱく質」。豆腐なども良質なたんぱく質ですが、これは「植物性たんぱく質」。おすすめは「動物性たんぱく質」を摂ることです。脂身の少ない赤身の肉・魚・牛乳などを積極的に摂るようにしましょう。高齢の方は骨粗鬆症の予防にもなっています。

動物性
たんぱく質



ポイント3 「風邪気味」でもマスクを

冬になると街中でよく見かけるのがマスクをした人々。マスクは本来、外からのウイルスを防ぐというよりは自分が持っているウイルスを他の人に移さないためをするものです。風邪をひいたからマスクを着けようではなく、「風邪気味だな」と思った時点で必ずマスクをするように心がけてください。

20〜30歳の若い人は免疫力があるのですが、高齢の方や乳幼児は免疫力が弱いため、インフルエンザウイルスに感染した後に重症化する可能性があります。自分加害者にならないためにも、しっかりマスクを着けましょう。これは冬ならではのマナーです。



以上、ちょっと注意していただきたい3つのポイントをピックアップしてみました。この時期は風邪をひかないように日頃から十分にケアをすることが最も重要です。質の高い食事と睡眠で自分の体のコンディションを整え、寒い冬を健やかに過ごしてください。

冬のおすすめ料理



栄養科学部
三堂 徳孝 准教授

あったか料理で、
楽しいひと時を過ごしましょう。

寒い冬には家族で楽しく食べられる「鍋料理」がおすすめです。今回は、スイスの家庭料理として親しまれている「チーズフォンデュ」と、私が研究を続けている生海苔を使った目新しい鍋料理「鰯と旬の生海苔のしゃぶしゃぶ」のレシピをご紹介します。材料を揃えれば手順は簡単。手早く仕上がるの見た目が華やかなのでお客さまへのおもてなし料理にも最適です。みんなが笑顔になる料理を、どうぞお試しください。

鰯と生海苔の しゃぶしゃぶ



【材料】(4人分)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| ・冷凍生海苔200g | ・豆腐1丁 | ・米酢50ml |
| ・鰯300g | ・日本酒400ml | ・ダイダイ絞り汁少々 |
| ・水菜½束 | ・昆布出汁400ml | ・大根おろし100g |
| ・シイタケ4枚 | ・醤油50ml | ・ユズゴシヨウ少々 |
| ・下仁田ネギ1本 | ・みりん30ml | ・小葱少々 |

【作り方】

1. 生海苔は2%の塩水で洗い、水気を切っておく。
2. 鰯は皮を除き、厚さ5mmの薄切りにする。
3. 豆腐、野菜は見栄えが良ように形を整えて切り、大根はおろす。
4. アルコール分を飛ばした酒に昆布出汁を加えてさらに沸かし、鰯、生海苔、野菜を好みで鍋に入れて火を通す。
5. ポン酢、大根おろしと薬味を添えてできあがり。

三堂シェフのひとくちメモ

旬の鰯を使った変わり鍋です。鰯と生海苔との絶妙なハーモニーをお楽しみください。生海苔はシャキシャキとした食感で、ミネラルとビタミンが豊富。風邪予防にもうってつけです。薬味はお好みで調整してください。

チーズフォンデュ



【材料】(4人分)

- | | | |
|------------|--------------|-----------|
| ・ラクレット300g | ・牛乳90ml | ・ブロッコリー½株 |
| ・ニンニク少々 | ・コンソメスープ40ml | ・カリフラワー½株 |
| ・コショウ少々 | ・バケット½本 | ・ラディッシュ4個 |
| ・ナツメグ少々 | ・ジャガイモ小2個 | ・ソーセージ4本 |
| ・コーンスターチ5g | ・カブ1個 | ・アスパラガス4本 |
| ・日本酒50ml | ・ニンジン1本 | ・ミニトマト4個 |

【作り方】

1. 鍋にニンニクを生そのままで香りを付けて、日本酒を入れアルコール分を飛ばす。牛乳、コンソメスープを加えて沸かす。
2. コーンスターチを牛乳で溶き、火を止めた状態で1に加え、とろみをつける。
3. 角切りにしたラクレットチーズを加え、絶えず鍋底をかき混ぜながら完全に溶かす。最後にナツメグ、コショウで香りを付ける。

三堂シェフのひとくちメモ

日本人の口になじみのある日本酒を使うため、白ワインが苦手な人も食べられます。冬はカブやジャガイモなどの根菜類が美味しい季節なのでおすすめです。また、チーズはピザ用のミックスチーズで代用してもOKです。

活躍する卒業生

Graduate of Nakamura



社会福祉法人真和会 板付保育園

花田 千明さん

平成22年度 中村学園大学
人間発達学部人間発達学科幼児発達学専攻 卒業

授業で学んだノートは いまでも見返すほどの宝物。

小学生の頃に夢見た 憧れの職業

小学生の頃からバレエを習っていた私は、年下の子の面倒を見るのが得意でした。保育士という仕事に興味を持ち始めたのは、小学校高学年の時です。

中学生になっても高校生になっても将来の夢を問われると、真っ先に「保育士」と答える自分がいました。そんな時に、高校の先輩から中村学園大学の存在を聞いたのです。それまでも両親や周囲の方々から「保育士を目指すなら中村学園大学がいいのではないか」と言われていたこともあり、卒業後の進路には迷いませんでした。大学ではゼミでさまざまなことを学びました。その中でも「リトミック」という音楽遊びに興味を持った私は、卒業論文のテーマにもこれを掲げ

ることに。そして、研究のために訪れたのがリトミックに力を入れている「板付保育園」だったのです。

園児たちと一緒に 成長していける保育士に

保育士になってもうすぐ3年が経ちます。あつという間に月日が流れました。1年目に担当した2歳児クラスの園児たちは今や4歳です。昨年の秋に開催された運動会では多くの競技がこなせるようになっていて思わず感動してしまいました。子どもたちの成長を間近で感じる事ができて「ああ、この仕事に就いて良かった」と心から思いました。園児と接するうえで私が一番大切にしているのは「一人ひとりの考えを尊重

すること」です。何があっても、まずは園児の口から意見を聞くようにしています。そうすることで保育士と園児の間に信頼関係が自然とできあがると思っているからです。これらは大学で学んだことから得た考え方です。授業中にメモをとったノートは宝物のように今でもよく見返します。「あの時はこうやって考えたんだな」と初心に戻ることで自信が湧いてくるんです。

昨年から大学の先輩が同じ職場で働き始めたので、今後は先輩として「教える」ことにも力を注いでいきたいと考えています。私が先輩方と接するうえで常に心掛けているのは「自分から訊く」ということ。わからないことがあつたらずぐに質問ができるような環境を作っていきながら、先輩と、園児たちと一緒に成長していきたいと思っています。そして仕事に対する情熱を絶やさず、これからも笑顔で頑張っていきたいです。



「健康でしなやかな心と体、豊かな感性を育てる」を保育目標と定める板付保育園で、毎日忙しいながらも、子どもたちとイキイキと接する花田さん。

上司からのメッセージ



社会福祉法人真和会 板付保育園
園長

真野 絹代 様

●花田さんについて

何と言っても努力家です。だからこそ他の先生からも信頼され、成長するのも早かったですね。また、保護者の方々からの評判も良く、数年後には園を引っ張っていくリーダーにふさわしい人だと思っています。今後、就職活動に取り組む後輩の学生の皆さんにはぜひ、花田さんの「わからないことは自分から何でも訊く」という精神を見習って、本当に自分に合う職場をじっくり探してもらいたいです。

●保育士に向いていると思う人材について

子どもが好きというのが前提ですが、とにかく笑顔でハキハキと話すことができる元気な人が向いていると思います。

楽しむ時も一緒! そんな先生が大好きです!



実験を通して知識と計画性、そして問題解決力を身につける!

管理栄養士を目指す学生たちが集まり、日々実験に取り組むのが大和ゼミの特徴。学生自らが行動をし、自身の目で結果を感じ取り、考えることでより確かな知識を得ることができるのです。



Welcome to Our Seminar

わがゼミ案内

栄養科学部 栄養科学科 大和ゼミ(4年生13名)

(大和先生の口癖)
どうですかね〜?

准教授
大和 孝子 先生



自主性も鍛えられるゼミ

「ストレスと栄養」をテーマとしている大和ゼミ。現代社会において感じる精神的なストレスを和らげるのは「体どんな食材なのか」ということを、実験を軸として学びます。「今年は日本茶を実験に用いました。茶葉に含まれるカテキンという抗酸化物質が、ストレスに対してどのように作用するのかを、一年間を通して実験・考察し、結果を導き出すのがゼミの主な内容です」と、大和先生。そうして出た結果によって、ストレスを和らげる効果がある食材をどのように献立に取り入れるかなど、管理栄養士の側面から考え、食の視点からあらゆるライフステージに応じた社会貢献を目指すというのが最終目標だといいます。「ひいては生活習慣病などを予防するためのメニュー改善にも繋がるのです。ただ教科書と向き合うだけではなく実験を通して、管理栄養士としての知識以外に、学生たちの自主性も鍛えられます」。

ゼミ生たちは実験から研究発表までのスケジュールを自分たちで立てます。そこには「時間を有効に使うにはどうしたらいいかを真剣に考えて欲しい」という大和先生の想いが込められているのです。実際、ゼミ生たちに「大和先生のゼミの強み」を尋ねると、声を揃えて「計画性が身に着くこと」と答えてくれました。

思いやりのある管理栄養士に

ゼミ生たちにはどんな管理栄養士になつて欲しいかという質問に対し、大和先生は「思いやりの精神を大切にして欲しい」と、につこり。「医師や調理師の方々と連携をとることが必要不可欠な仕事なので、自己中心ではなく、常に相手の立場を考えた行動ができるようになって欲しい」と続けてくれました。大和先生を慕う学生が集まったゼミは団結力も強いとのこと、みんなで誕生日パーティをしたり、夏はバーベキューに出かけたりとプライベートでもよく顔を合わせるそうです。

ゼミ生たちは皆「楽しむ時は一緒に楽しんでくれる大和先生が大好き」だと言います。「ゼミを通して知識だけでなく人間性も豊かになってくれたらこれほど嬉しいことはないですね」と、大和先生は最後に優しい眼差しで話してくれました。

Profile

中村学園大学家政学部食物栄養学科食物栄養学専攻卒業。博士(学術)。卒業後は同学科の助手として就職。助教、講師を経て、2010年には栄養科学部の准教授に就任。趣味は国内外問わず旅行に出かけること。文化や食、建造物に触れるのが好きで、今まで訪れた中で最もおもしろかったのはケニアだそう。





議長と学友自治会執行部のメンバー



学友自治会執行部

◎部員数／15名

◎会長／片山 今日子
(流通科学部2年生)



スポーツ大会の様子。毎年開かれ、学部学科、学年、性別関係なく、学生みんなが楽しめる場となっています。



前学期と後学期の年2回開催される「学生総会」。多数の学生が参加する中、活動報告や計画の説明が行われます。



学生の皆さん全員に、

充実した学生生活を過ごしてもらうために！

15名で構成されている自治組織。全員がそれぞれの役割を果たしつつ、強い団結力を活かして頑張っています。

学友自治会執行部は、高校で言えば生徒会のような存在。学生の成長を助け学生生活をより良いものにしていくための自治組織です。高校とは異なり、大学の場合、その活動内容は多岐に亘ります。各部員は、他大学との交流を図る「渉外」、円滑なサークル活動が行われるようにする「サークル支援」、大学からの援助資金などを取り扱う「会計」などを主な業務として活動しています。また、学生同士の親睦を深めるために、スポーツ大会などのイベントも企画運営しています。平成25年度は3回のスポーツ大会を開催し、合計で270名以上の参加者を集めました。

「部員はみんな頼りになるメンバーばかりです。それぞれの役割に長がいて、しつかり活動をまとめてくれています」と話すのは、1年生の後学期から会長を務めている片山今日子さん。片山さんは会長職として、部内の円滑なコミュニケーションや部を代表して学生課を主とした大学側との折衝を任されています。

学生生活の充実、学内の親和を図るために、部員全員が日々努力を重ねてい



「社会人の方と接する機会も多く、とても勉強になっています。学友会自治会執行部に入って本当に良かったと思っています」と語る片山会長。

る学友自治会執行部。時には考え方の相違から意見がぶつかり合うこともあるそうですが、逆にそれが課題解決のために良い方向に進んでいるとのこと。 「個性的なメンバーが多いのですが、いざという時の団結力は強いんです。学生の皆さんが過ごしやすい環境にする」という思いは、みんなが共有し合っています。中村に入学して良かった、中村でのキャンパスライフは楽しい、と思ってもらえるようにこれからも全力でサポートしたいです」と語る片山さん。

時に学生と大学の橋渡しの役割も担っている、縁の下での力持的な存在の学友自治会執行部。これからも持ち前の団結力で、学生のために頑張っていきたいものです。

平成26年度 入試結果

※競争率は、受験者数／合格者数（小数点第3位以下を四捨五入）

●中村学園大学大学院

研究科	専攻	課程	区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
栄養科学研究科	栄養科学専攻	博士前期課程	推薦	6	3	3	3	1.00
			一般（1次）		5	5	4	1.25
		博士後期課程	第1次	3	0	0	0	0
流通科学研究科	流通科学専攻	修士課程	推薦	10	6	6	5	1.20
			一般（1次）		4	4	4	1.00
			社会人（1次）		1	1	0	0
			外国人（1次）		0	0	0	0
人間発達学研究科	人間発達学専攻	修士課程	推薦	5	1	1	1	1.00
			一般（1次）		0	0	0	0
			社会人（1次）		1	1	1	1.00

●中村学園大学（推薦入学選考）

学部・学科	区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率
栄養科学部 栄養科学科	公募	50	136	136	55	2.47
	併設校	20以内	18	18	18	1.00
	指定校	20	30	30	30	1.00
教育学部 児童幼児教育学科	公募	80	153	153	104	1.47
	併設校	15以内	15	15	14	1.07
流通科学部 流通科学科	公募	20	29	29	26	1.12
	併設校	35以内	26	26	26	1.00
	指定校	55	89	89	89	1.00

●中村学園大学短期大学部（推薦入学選考）

学 科	区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率
食物栄養学科	公 募	37	72	72	55	1.31
	併設校	10以内	6	6	5	1.20
	指定校	63	63	63	63	1.00
キャリア 開発学科	公 募	10	22	22	18	1.22
	併設校	15以内	14	14	14	1.00
	指定校	110	123	123	122	1.01
	自己推薦	5	6	6	5	1.20
幼児保育学科	公 募	75	123	123	97	1.27
	併設校	15以内	13	13	13	1.00
	指定校	60	69	69	69	1.00

入学試験のお知らせ

●中村学園大学大学院 栄養科学研究科（博士前期課程）

区 分	試験日	募集人員	出願期間
第2次試験入学選考	平成26年 2月15日(土)	6名	平成26年1月20日(月) ～1月31日(金)
外国人留学生特別選考			平成26年1月14日(火) ～1月31日(金)

※募集人数：推薦・第1次試験入学選考含む

●中村学園大学大学院 栄養科学研究科（博士後期課程）

区 分	試験日	募集人員	出願期間
第2次試験入学選考	平成26年 2月15日(土)	3名	平成26年1月20日(月) ～1月31日(金)

※募集人数：第1次試験入学選考含む

●中村学園大学大学院 流通科学研究科（修士課程）

区 分	試験日	募集人員	出願期間
第2次試験入学選考	平成26年 2月15日(土)	10名	平成26年1月20日(月) ～1月31日(金)
第2次社会人特別入学選考			平成26年1月14日(火) ～1月31日(金)
第2次外国人留学生特別選考			平成26年1月14日(火) ～1月31日(金)

※募集人数：推薦・第1次試験・第1次社会人・第1次外国人留学生特別入学選考含む

●中村学園大学大学院 人間発達学研究科（修士課程）

区 分	試験日	募集人員	出願期間
第2次試験入学選考	平成26年 2月15日(土)	5名	平成26年1月20日(月) ～1月31日(金)
第2次社会人特別入学選考			平成26年1月20日(月) ～1月31日(金)

※募集人数：推薦・第1次試験・第1次社会人特別入学選考含む

●中村学園大学

種 別	試験日	学部・学科	募集人員	出願期間
試験入学 選考 (後期日程)	平成26年3月4日(火)	栄養科学部 栄養科学科	5名	平成26年 2月17日(月) ～ 2月26日(水)
		教育学部 児童幼児教育学科	5名	
		流通科学部 流通科学科	5名	平成26年 2月17日(月) ～ 3月4日(火)
		流通科学部 流通科学科	5名	
大学入試 センター 試験利用 入学試験 (後期日程)	①平成26年度大学入 試センター試験の 成績を基に合否判 定を行う。 ②本学の個別学力試 験は課さない。	栄養科学部 栄養科学科	3名	平成26年 2月17日(月) ～ 3月4日(火)
		教育学部 児童幼児教育学科	5名	
		流通科学部 流通科学科	3名	

●中村調理製菓専門学校

区 分	試験日	出願期間
第5回 入学試験	平成26年3月2日(日)	平成26年2月3日(月) ～2月26日(水)
第6回 入学試験	平成26年3月22日(土)	平成26年3月3日(月) ～3月18日(火)

★体験入学（調理・製菓・製パン） 1月19日(日)、2月16日(日)、3月30日(日)

★特別体験入学（製パン） 1月11日(土)

●中村国際ホテル専門学校

区 分	試験日	出願期間
第5回 入学試験	平成26年3月2日(日)	平成26年2月3日(月) ～2月26日(水)
第6回 入学試験	平成26年3月22日(土)	平成26年3月3日(月) ～3月18日(火)

★体験入学（ホテル・ブライダル） 1月19日(日)、2月16日(日)、3月30日(日)

付属幼稚園 園長だより



友だちとして 教師として

子どものお手本

吉岐幼稚園 園長 宮坂 明

吉岐幼稚園では、6月上旬・6月下旬～7月上旬・10月上旬～中旬の年3回、中村学園大学教育学部から教育実習生を受け入れています。1・2回目は、幼稚園教諭を目指す3年生が各回30名程、3回目は、主に小学校教諭を目指し幼稚園教諭の免許状取得も希望する4年生30名程がやって来ます。進路の違い、学年の違いからでしょうか、1・2回目の実習生と、3回目の実習生とでは、子どもたちへの接し方が異なるように感じます。1・2回目の実習生は、初めての実習ということで最初は緊張している様子ですが、もともと園児ぐらいの年齢の子どもが大好きで幼稚園教諭を目指しているだけあって、すぐに子どもたちとも仲良しになり楽しそうです。実習期間に、プール指導も始まりましたから、多様な園務を経験して勉強になったのではないのでしょうか。3回目の実習生は、既に3年生で小学校教育実習を終えており、教員採用試験も終わっています。そのためなのかはわかりませんが、幼稚園教育実習を子どもとの遊びと捉えているように感じました。子どもと一緒に遊ぶことは大切です。時には友だちのように遊ぶことも必要でしょう。しかし、常に友だちであってはならないと考えます。1日目、子どもたちと遊ぶ実習生の様子は、常に友だちであったと思います。言葉遣いも、友だち間のそれであり、教師であることを忘れていたのではないのでしょうか。幼稚園教育要領の領域「言葉」における「生活の中で言葉の楽しさや美しさに気付く。」を考えるならば、教師は子どものお手本でなければなりません。2日目、これについて講話を行いました。

「めぐりめぐらんど」プロジェクト～小川島



流通科学部の片山ゼミでは、実践的なマーケティングの習得を目指して、社会に対して実際にマーケティングの提案を行っています。今年度は、小川島（佐賀県唐津市呼子）の活性化を目的とした「めぐりめぐらんど」プロジェクトに取り組み、5月と7月の2回に亘る現地調査や、清掃や行事などの地域活動への参加、観光客に対するアンケート調査の実施など、小川島の実態把握や魅力発見などについて約半年間のゼミ活動を行いました。その集大成として平成25年9月22日、小川島の唐津市立小川小中学校体育館を会場

に小川島や7つの島の島民の皆さまへ「小川島の活性化提案」の最終報告会を行いました。報告会では、これまでの調査を基に6つのグループがそれぞれ考えた、SWOT分析やアンケート調査の報告と活性化の具体的な提案が行われました。真剣な質疑応答とともに、多くのお褒めの言葉もいただき、プロジェクトに参加した学生たちは、さまざまな取り組みを通して小川島の活性化に少しでも協力することで、貴重な体験を得ることができました。報告会終了後は、小川島の交流施設めぐりあいらんどおがわに場所を移して島民の方々との交流会が行われました。



平成25年度 筑前町どんとかがし祭

「筑前町どんとかがし祭」は、筑前町の自然の恵みに感謝し、収穫をみんな喜び合う祭りです。また、地域住民の連携と融和を図り、思いがけない発見や感動に出会える祭りでもあります。本学と筑前町の連携協力協定締結をきっかけに、今年も流通科学部の24名の学生が参加しました。第9回筑前町どんとかがし祭では、平成25年11月2日の前夜祭、翌3日の本祭が安の里公園（筑前町篠原）にて行われました。本祭はいくの雨天でしたが、多くの方が来場され、学生はスタンプラリーの受付、お化け屋敷の運営、筑前町特産品クロダマルを使用した試食イベント、野菜の収穫イベント、広報とそれぞれに役割を任されました。



特に、1年生で筑前町出身の小松佑也さんは、6月から実行委員として、活動が続けられました。ステージで行われる催し物の企画、「みこしイベント」で使われる神輿の製作に前日まで携わり、祭中はおばけ屋敷運営の一員として多くの子どもたちを相手にしていました。祭りに参加した学生は、今回の体験を通して、町を大切に思う役場の方々の熱い気持ちと、参加者である地域の方々の楽しそうな笑顔を見て、地域の関わりがどれほど温かいものかということを感じました。



第40回公開講座 『スマートエイジング―楽しく生きる!いのちの栄養・こころの癒し―』

公開講座は地域との共生という観点から、大学開放活動の一環として市民の方々に本学の教育・研究の成果を還元し、交流を深める目的で毎年、開催されています。第40回目を迎える今年度は、『スマートエイジング―楽しく生きる!いのちの栄養・こころの癒し―』を統一テーマに左記の内容でA、B、C、Dの4つのコース(4日間・計7講座)で開催しました。各コースの内容については、本学ホームページに開催報告記事を掲載しています。
(<http://www.nakamura-u.ac.jp/>)



津田 博子 教授



加藤 秀夫 氏



昇地 勝人 教授



坂田 利家 氏



松隈 紀生 教授



井上 寛七 教授



三堂 徳孝 准教授



テーマ スマートエイジング

―楽しく生きる!いのちの栄養・こころの癒し―

プログラム

■開講式(挨拶)

学長 甲斐 諭

■Aコース 2013年10月5日(土)

A-1 からだのリズムに合わせた食事!

― マスコミでは語れない食のウソ・ホント ―

東北女子大学 家政学部長 教授 加藤 秀夫

A-2 健康寿命をのばそう!

― 生活習慣改善による

ロコモティブシンドローム予防 ―

栄養科学部 教授 津田 博子

■Bコース 2013年11月2日(土)

B-1 スマート・エイジングを蝕む'リズム病'のはなし

大分医科大学 名誉教授 坂田 利家

B-2 心の面から痛みと向き合う法

― 不思議! 痛くない! 簡単! 心とからだのリラックス ―

教育学部 教授 昇地 勝人

■Cコース 2013年11月30日(土)

C-1 四国遍路と心を描く

教育学部 教授 井上 寛七

C-2 おいしい食事はいのちの栄養

― 減塩食も腕次第!(調理デモンストレーション) ―

短期大学部食物栄養学科 教授 松隈 紀生

■Dコース 2013年12月7日(土)

スマートエイジング

― 素敵なクリスマスを過ごすために

(調理デモンストレーション) ―

栄養科学部 准教授 三堂 徳孝

※敬称略、肩書き等は開催日現在のもの

公開講座終了のご挨拶

第40回公開講座委員長

森脇 千夏 准教授

(短期大学部食物栄養学科)



森脇 千夏 准教授

第40回公開講座

「スマートエイジング―楽しく生きる!いのちの栄養・こころの癒し―」が68

3名の市民の皆さまにご参加をいただき、平成25年12月7日に盛会に終了いたしました。

スマートエイジングとは、加齢は成長であり、賢く年を取ろうという考え方のことで高齢期を「知的に成熟する人生の発展期」として積極的に受容しようというものです。

本年度の講座では、からだのリズムに合わせた食事の食べ方や調理方法、高齢期における運動器の衰えを予防するためのトレーニング法やリハビリに加えて、心の癒しにも目を向けました。参加された方からは、「講座に参加してスマートエイジングとは、私にとってスマイルエイジングでした。参加して自然と笑顔になりました。スマイルエイジングで長生きしたいです」などの感想が寄せられました。本講座によって新しい知識や技術を知り、味わうこと、体験することによって新しい自分との出会い・発見の場となったのではないだろうか。最後になりましたが、ご参加いただきました市民の方々、講師の諸先生方に厚く御礼申し上げます。

Q-conference 2013 Trial & Error for NEXT! — 私たちは変わっていくのか —

平成25年11月2日「Q-conference2013」が、九州大学伊都キャンパスにて開催されました。このイベントは、QJinks(※)の活動として、QJinks 担当者及び大学教育改善に関わる教職員や学生が一堂に集まり、出会い、知り合い、発見し、これまでのQJinksを振り返る場として企画されたものです。

「オープニングセッション」に続き、仲間の知恵や工夫を知り合う「ポスターセッション」や、大学の未来に向けてどのように試行錯誤を重ねているのか、話題提供者の経験談を踏まえて参加者を交えて対話を行う「企画セッション」など、さまざまなセッションが展開されました。本学からは、「ポスターセッション」に栄養科学部、短期大学部からそれぞれの臨地実習やマナー向上の取り組みに関するポスターを出展しました。

「ポスターセッション」では3分間のPRタイムにおいて30名を超える発表者がPRを行いました。栄養科学部は実践教育に関するこれまでの取り組みを紹介し、短期大学部はマナーに悩む他大学の教職員からの質問に親身に答えている様子が評判を呼んでいました。

Q-conference 2013



Trial & Error
for NEXT!

私たちは変わっているのか?



本学の取り組みを他大学に紹介するだけではなく、他大学の取り組みをその場で知り、熱心に発表者と議論を重ね、新たな出会いや発見を得ることができるとも充実したカンファレンスでした。

※ QJinks (九州地域大学教育改善F D・SDネットワーク)

人的ネットワークの構築や情報共有を通じて、各大学の教育の充実・発展に寄与することを目的に福岡市内の6大学(九州大学・西南学院大学・福岡大学・福岡歯科大学・福岡女子大学・中村学園大学)でスタート。発足から4年が経った現在、九州・沖縄地域の賛同校が30大学を超え、全国の賛同者も50名を超えました。今もネットワークは広がり続けています。

■本学発表ポスターセッションタイトル

【栄養科学部】

管理栄養士養成課程における初年次教育から臨地実習までの取組

【短期大学部】

中村学園大学短期大学部
学園マナーの取り組み

「マナーの充実には「周囲の支援」が必要である」

ライジング福岡2013 — 2014シーズン応援企画 —

流通科学部の音成ゼミ(3年生14名)は、昨年の4年生の活動を引継ぎ、福岡のプロバスケットボールチームであるライジング福岡の応援企画に平成25年4月から取り組んできました。



流通科学部の音成ゼミ(3年生14名)は、昨年の4年生の活動を引継ぎ、福岡のプロバスケットボールチームであるライジング福岡の応援企画に平成25年4月から取り組んできました。これらの活動をさらに展開して、平成25年11月16日、17日の両日、アクシオン福岡において開催される公式戦の運営の一部を任せていただきました。当日は企画と運営に携わった音成ゼミの学生に加え、観戦者として流通科学部や短期大学部の学生ら374名が参加しました。観戦した学生はプロの試合を観ることで、スポーツがもたらす、興奮・感動・力を改めて感じたようです。企画運営に参加した音成ゼミの学生にとって、普段なかなか携わる機会がない会場設営や撤収作業など、運営する側として活動する貴重な体験となりました。この体験を通して、試合をつくりあげるための大変さや、多くの人の協力があったことが成り立っていることを実感できたようです。

新実験実習棟 新築工事の起工式

平成25年10月31日、本学東1号館解体跡地において、新実験実習棟新築工事の無事故無災害を祈念して起工式が行われました。

起工式は、中村理事長、甲斐学長並びに本学関係者、設計関係者、工事関係者臨席のもと厳かに執り行われました。

新実験実習棟は、東1号館や中央南館、中央本館に混在していた調理実習室並びに実験実習室等を集約し、施設・設備の機能の充実を図るとともに、教育研究成果をより向上させるために建設されます。竣工は平成27年2月中旬を予定しています。



■新実験実習棟の概要

構造・規模：
鉄筋コンクリート造
一部鉄骨造
8階建免震構造
延床面積：8,370.55㎡



完成予想図

流通科学研究科セミナー



原田 保氏

平成25年11月7日、西2号館において流通科学研究科セミナーが開催されました。大学院流通科学研究科は、教育研究の成果を社会へ還元し、地域の発展や学術の振興に寄与するため毎年セミナーを開催しています。

今回は、地域デザイン学会会長の原田保氏をお迎えし、「地域ブランドのコンテクストデザイン」をテーマに講演が行われました。企業の取組み事例を紹介しながらコンテンツの可能性について説明され、コンテンツに付加価値を与えることで効果的なイノベーションの可能性が



第8回 古賀市第九演奏会



平成25年12月21日、古賀市リーパズプラザ大ホールにおいて、第8回古賀市第九演奏会が開催されました。この演奏会は、毎年、12月に行われているもので、今年で第8回目を迎えました。古賀市民オーケストラと、古賀市「第九」合唱団、

ソリスト4名による演奏が行われ、短期大学部幼児保育学科の笠井キミ子教授がソプラノソロとして出演されました。当日は、550名の一般市民が来場され、会場が一体となった素晴らしいひと時を過ごすことができました。



生まれると述べられました。また、地域ブランドのデザイン例をもとに講話され、コンテクストデザインは、「コンテンツに費用をかけずに知恵を出し合いコンテンツに力を注ぐ。そして全てのビジネスモデルに適用できる」とまとめられました。

講演会終了後は、講師を囲んだ懇親会が催され、多くの参加者が親交を深めました。

プログラム

司会進行

流通科学部 准教授 前田 卓雄

開会の挨拶

学長 甲斐 諭

講師紹介

流通科学研究科長 教授 山田 啓一

講演

「地域ブランドのコンテクストデザイン」

地域デザイン学会会長 原田 保氏

質疑応答

閉会の挨拶

流通科学研究科長 教授 山田 啓一

※敬称略、肩書き等は開催日現在のもの

後学期公開授業（授業参観）

平成25年11月5日から27日にかけて、公開授業（授業参観）が実施されました。この取り組みは、本学の教員が担当する授業を公開し、本学の教職員が相互に参観するもので、平成21年度から実施しており、今年度で5年目になります。参観した教職員は、参観するだけでなく、自身の授業に取り入りたい点や感想、アドバイスなどをレポートにまとめて提出することになっており、参観を受けた教員は、参観者からのレポートを受けて、考察を提出するとともに授業の改善を図ることになっています。

今回は中村学園大学（栄養科学部、教育学部、流通科学部）で開講する科目が対象となっており、211科目の参観が行われました。

この公開授業（授業参観）は本学で取り組んでいる全学FD活動（授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な活動）の一つであり、全教職員が協力して教育の改善を目指しています。

同時に、高大連携の一環として、併設校（中村学園女子中学校・高等学校、中村学園三陽中学校・高等学校）と大学との間での公開授業（授業参観）も併せて実施され、大学の教員が高校の授業を、また、高校の教員が大学の授業を参観するという取り組みも行われました。

本学では、FD委員会、FD推進センター、FD推進委員会と各教育センターが連携し、全学的なFDに取り組んでいます。

男の料理教室2013

平成25年12月7日、中央南館2階217栄養・調理学実習室において「男の料理教室2013」が開催されました。この料理教室は、食育推進委員会が主催し、男子学生に料理を通して食育を学んでもらおうと企画されました。食育推進委員でもある食物栄養学科の内田和宏講師による示範が行われ、柴田助手、補助学生の指導のもと、参加した男子学生は食育館レシピ本の中から、「麦ご飯」、「豚肉のみそ生姜焼」、「がめ煮」、「ほうれんそうナムル」、「はんぺんのすまし汁」の一汁三菜ランチにチャレンジしました。お米を磨ぐことから始まり、調味料の準備、食材の下ごしらえ、盛り付けとあつという間に時間が過ぎていきました。初めて包丁を握り悪戦苦闘している学生もいれば、一人暮らしの学生は包丁さばきもうまく手馴れた手つきで調理していました。



きれいに盛り付けた後は、みんなでお互いの料理を食べ比べ、楽しい時間を過ごすることができました。「来年も、ぜひ参加したい」と感想を述べた学生もあり、日頃とは違った貴重な体験の機会となりました。

図書館

『Library Lovers' キャンペーン2013』

秋の読書週間に合わせ、本学図書館において『Library Lovers' キャンペーン2013』が実施されました。このキャンペーンは、学生の図書館利用促進を図ることを目的として九州地区大学図書館協議会（九州・沖縄国公立大学78館加盟）が実施するものです。合同企画では、「収穫の秋、読書の芋。」というタイトルのもと、教員や学生から、おすすめの本や映画・音楽に関するコメントを募集し、そのコメントを芋の葉と芋に見立てて、立派な芋畑に成長させていくという取り組みを行いました。コメントを提出した学生には、栄養科学部の三



成由美教授、短期大学部食物栄養学科の松隈紀生教授オリジナルの「さつま芋レシピ」が進呈されました。また、本学オリジナル企画として、「秋の読書祭」というテーマでPOP広告コンテスト（PKC）を開催しました。これは「読書の秋部門」「スポーツの秋部門」「食欲の秋部門」から好きな部門を選び、学生おすすめの本をPOP広告で紹介する企画で、期間中49作品の応募がありました。応募した学生にはもれなくハロウィーンお菓子が、さらに優秀賞を選定するPKC49総選挙で投票数が多かった上位20作品の学生には図書カードが進呈されました。企画の立案、市内書店での選書ツアー、棚のレイアウトやフェイスブック、ホームページで告知する原稿作成、掲示ポスター作成などを12名の学生ボランティアが広報チームと企画



チームに分かれて行いました。キャンペーンに携わった学生ボランティアにとつて、この企画は社会人になる前の貴重な体験となりました。

発達支援センター「親子教室」

「親子教室」は、本学教員による乳児期から幼児期までの発達に関するミニレクチャーをはじめ、親子遊びや自由遊び、保護者の子育てに関するフリートーキングなどを行う場として地域の親子（1〜2歳児）を対象に、本学・発達支援センターの主催により毎年行われています。

■第1日目 平成25年10月10日

（発達支援センター・多目的ホール）

佐々木美智子教授（教育学部）によるオリエンテーションの後、参加者の自己紹介が行われ、幼児一人ひとりの名前を呼びかけると子どもたちは明るく元気よく返事をしていました。次にわらべうたを歌いながら親子のスキンシップや参加者同士のコミュニケーションも図られました。続いて、「子どもとの関わり、子どもの育ち」と題した保護者向けのミニレクチャーが行われ、子どもは、乳児期から幼児期にかけてしっかりと抱っこされると基本的信頼感が形成されそれをベースに探索活動が活発になることが説明されました。

■第2日目 平成25年10月19日

（第2体育館・柔道場）

最初に歌に合わせた手拍子や身体を動かす親子遊びから始まり、雰囲気慣れたところで本の読み聞かせなどが行われ、「お父さんの子育て」をテーマに圓入智仁准教授（短期大学部幼児保育学科）によるミニレクチャーが行われました。父母の育児に関する統計を見ながら、現在の育児の現状を考えました。父親が持つ役割について夫婦や参加者同士が共に考え意見交換すること、育児に対する理解を深めました。

■第3日目 平成25年10月31日

（発達支援センター・多目的ホール）

はじめに、自由遊びの時間が設けられ、子ども同士が関わる遊びやわらべ歌を用いた親子のスキンシップが行われました。会場内は、雰囲気になじみ慣れた子どもたちの笑い声が、絶えることなく教室いっぱいに響いていました。次に、保護者同士のフリートークの場が設けられました。同年代の子どもを持ち、類似



■第4日目 平成25年11月14日

（発達支援センター・多目的ホール）

した境遇だからこそできる相談や意見交換を行いました。このフリートーキングには、本学教育学部の学生も参加し、子育てに関する生の声を親身に聞いていました。続いて、島内博行教授（教育学部）による「数や形と論理」をテーマにミニレクチャーが行われました。子どもにとつてあらゆることを分類することが知的発達の出発点であり、身体を使う遊びをはじめとする活動を通して知的発達が促されると説明されました。ミニレクチャーの最後には質問コーナーが設けられ、保護者から子育てに関する質問が飛び交いました。



山田朋子講師（教育学部）による「親子でほっこりタイム」をテーマとしたミニレクチャーが行われ、子育てにおいて大切な2つのポイントとして、「楽しくお子さんと向き合うために、比較する時は昔の自分や我が子とし、他人と比べないこと」「お母さんやお父さん、お家の方は、お子さんのパワースポットである」と説明がありました。次に、身近なものを活用する「室内遊び」について紹介され、遊びの例として色付きのペットボトルの蓋や、ゼリーのカップ、さらにはビニール袋など日常生活に溢れているものを使って実践しました。

発達支援センターでは、親子教室のほかに「子どもの育ちをみつめる保育・教育専門講座」を毎年行っており、平成25年度は「子ども虐待の現状と支援」をテーマに、平成26年2月15日、2月22日、3月1日の3日間に亘って開催する予定です。

第9回地下鉄七隈線沿線 3大学合同シンポジウム



津田 博子 教授

平成25年11月3日、福岡大学病院・福大メディカルホールにおいて、第9回地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウムが開催されました。このシンポジウムは、地下鉄七隈線沿線に所在する中村学園大学、福岡大学、福岡歯科大学の3大学連携のもと、市民の健康づくりを目的に実施しているもので、今年度で9回目を迎えました。当日は、地域住民の皆さまや各大学の関係者を中心に、200名を超える方々が参加されました。

今年は「高齢化社会と健康——快適な生活を送るために——」をテーマに、各大学の講師による講演と来場者との公開討論が行われました。公開討論では、来場者から日頃抱えている悩みなど多くの質問が寄せられ、活発な討論が交わされました。



プログラム

開会の辞・総司会

福岡大学病院 副病院長 渡辺 憲太郎

当番校挨拶

福岡大学病院 病院長 山下 裕一

《第1部》

講演

- ◆「お口の老化とうまく付き合うために
—お口の老化の個人差を理解する—」

福岡歯科大学 咬合修復学講座 准教授 松浦 尚志

- ◆「骨粗鬆症の正しい理解と予防—食事・運動・日光浴—」

中村学園大学 栄養科学部 教授 津田 博子

- ◆「認知症の現状と予防について」

福岡大学病院 神経内科・健康管理科 助教 合馬 慎二

《第2部》

公開討論（司会進行）

福岡大学病院 副病院長 渡辺 憲太郎

閉会の辞

渡辺 憲太郎

※敬称略、肩書き等は開催日現在のもの

プログラム

【司会進行】栄養科学研究科 教授 原 孝之

学長 甲斐 諭

開会の辞

講演

【座長】栄養科学研究科 教授 原 孝之

1. 「還元型コエンザイムQ10の開発の歴史と栄養学との関わり」

株式会社カネカ QOL事業部幹部職 理学博士 藤井 健志

2. 「Ubiquinol and Ubiquinone Content in Foods and Effect of Cooking」

Institute of Nutrition, Mahidol University, Thailand
Dr. Aikkarach Kettawan

3. 「食事からのコエンザイムQ10の摂取量と血中レベル：栄養学的解析」

和洋女子大学 家政学群 准教授 薬学博士 鈴木 敏和

【座長】栄養科学研究科 教授 津田 博子

4. 「疲労の科学と還元型コエンザイムQ10（ユビキノール）の抗疲労効果」

理化学研究所 ライフサイエンス技術基盤研究センター センター長
大阪市立大学 健康科学イノベーションセンター 所長
医学博士 渡辺 恭良

討論会

閉会の辞

栄養科学研究科長 教授 中野 修治

※敬称略、肩書き等は開催日現在のもの



今回は、注目が集まる「コエンザイムQ10」をテーマに、国内外から4名の講師をお招きしました。参加した聴衆からも、講師それぞれの見地からのアプローチに、コエンザイムQ10への期待や関心が高まったとの声が聞かれました。また、講演を記念し、タイから来日いただいたAikkarach Kettawan先生に、中野栄養科学研究科長から、感謝状が贈られました。

平成25年12月7日、西1号館10階大講義室において、第22回アジア栄養科学ワークショップ「万病予防の素還元型コエンザイムQ10」が開催されました。このワークショップは、毎年大学院栄養科学研究科の主催により実施されているもので、大学院生をはじめ、学部生、教職員のほか、一般の方も対象に企画され、アジアにおける著名な講師をお招きして講演や討論などが行われています。

第22回アジア栄養科学ワークショップ

韓国・明知大学校来訪

平成25年12月26日、本学と学術交流協定を締結している韓国の明知大学校の一行が本学を訪問されました。甲斐学長をはじめとする本学関係者と学生が訪問を歓迎しました。

交流会では、甲斐学長のウェルカムスピーチから始まり、本学を紹介したビデオの鑑賞や栄養科学部三成由美教授による講話が行われました。

昼食では、食育館の一汁三菜ランチを楽しみながら学生同士の交流を深めました。

最初は緊張した面持ちだった学生も、次第に打ち解けているようでした。お互いの国を肌で感じることで、両大学にとって有意義な場となりました。



入学前教育

平成25年12月21日、推薦入試・社会人特別入試合格者を対象に流通科学部と短期大学部で入学前教育が行われました。この取り組みは、入学試験合格から入学までの勉強に対するモチベーションの維持や大学生活への円滑な接続を目的としたもので、事前課題の説明や在学生との交流会などが行われました。

このほか、平成25年4月より開設された基礎教育センターでは、今年度より推薦入学選考合格者を対象に「入学前準備講座（無料・任意受講）」を平成26年1月から2月にかけて実施しています。「入学前準備講座」は、大学で学んでいく



ための基礎学力を確認し、補うための講座で、学部・学科によって開講科目は異なりますが、国語・数学・英語・理科（生物、化学）を平均5回、実施します。また、講座後には基礎教育センターにて個別学習・グループ学習にも対応する取り組みを行っています。

実施内容

流通科学部 集合教育

時間	内 容	担 当 者
12:10~	受付	流通科学部教員
12:45~	合格者へのメッセージ	学部長
	在学生からのメッセージ	4年生(浅岡ゼミ生)
13:00~	リメディアル講座 ・ガイダンス ・国語解説および数学解説	基礎教育センター
16:00~	諸連絡	流通科学部教員

短期大学部 プレカレッジ

食物栄養学科

- ・ガイダンス：栄養士の仕事と心構え、大学と高校との違い、他
- ・模擬授業：食品衛生学
- ・座談会：在学生との交流

キャリア開発学科

- ・講義：大学とは／キャリア開発学科とは
- ・チーム学習：大学と高校の違いを考えよう（在学生指導）
- ・相談コーナー

幼児保育学科

- ・オリエンテーション
- ・講義：声楽・器楽
- ・在学生との交流会

メンタルヘルス研修会

平成25年12月26日、2405教室において教職員を対象とした「メンタルヘルス研修会」が開催されました。この研修会は、心の病の一因となるストレスに対する正しい知識や対処法を学び、健やかな心と体の保持増進を目的として毎年開催されています。

今回は、「心の健康づくりについて」活力ある組織は一人ひとりの心身の健康から」をテーマに、社会保険労務士福田事務所の福田和子氏による講話が行われました。

健康な日々を過ごすためには、適度なストレスと上手付き合っていくことが重要です。ストレスを受け続けると心だけでなく体にも不調をきたし、さまざまな疾患を招きます。過重労働等に伴う労働災害が社会問題となっており、事業所に対してメンタルヘルスクエアを積極的に推進することが求められています。

メンタルヘルス不調は、自分では気付きにくい場合もあります。周囲の人の普段と違う様子に気付いたら、早めに声を掛け必要に応じて専門家を紹介することが大切です。また、ストレス反応の傾向と対策についての説明や、きちんと休養をとり常日頃から短時間でも自分の時間を持つことが予防に繋がるとのお話がありました。

最後に、全教職員を対象とした「労働者の疲労度蓄積自己診断チェック」の結果報告が行われ、上位を占める自覚症状や平均値、部門別の集計が示されました。



防災訓練

平成25年12月26日、福岡地域に大規模地震が発生したことを想定した地震防災訓練を実施しました。

訓練は、午前11時に福岡市を中心とする震度6強の地震が発生したことにより校舎内で火災が発生したとの想定で、開始しました。

地震発生後、自衛消防隊本部隊の緊急招集を行い、各地区隊が校舎内の被災状況を確認し、その報告を受けた本部隊からの避難放送に従い、教職員はグラウンドに避難しました。

自衛消防隊では本部隊及び各地区隊の隊長・班長の指揮により、被災状況の情報伝達、119番通報、出火場所での初期消火、校舎内からの避難誘導、負傷者の救出救護他、それぞれの任務を機敏に遂行し、グラウンドに避難した教職員・学生は城南消防署立ち会いのもとに消火訓練を行いました。

訓練終了後、自衛消防隊長の甲斐学長より「大地震のような大きな災害はめったに発生しないが、災害発生時は的確な判断のもとに安全を確保し、迅速な行動をとることが重要であり、今回の経験を實際に災害が発生した際の適切な行動へと繋げて欲しい」と挨拶がありました。今回の防災訓練により判明した課題を基に本学の防災体制を強化するとともに、教職員の防災意識をさらに高めるために今後も訓練を実施していきます。



教員の表彰

平成25年秋の叙勲 瑞宝中綬章受章



山藤 圭子 名誉教授

山藤圭子名誉教授が、平成25年秋の瑞宝中綬章を受章しました。

山藤名誉教授は、九州大学大学院理学研究科博士課程修了後、昭和37年4月に本学に着任して以降、タンパク質分解酵素及び生理活性ペプチドの機能に関する

研究助成寄付金受入れ状況

(平成25年10月～11月受入分)

【研究者】 三堂 徳孝 准教授 (栄養科学部)
【寄付の目的】 甲殻類のエキス抽出と調理性の研究助成
【企業名】 株式会社インタークレスト
【金額】 500,000円

【研究者】 甲斐 諭 教授 (流通科学研究所・所長)
【寄付の目的】 中村学園大学流通科学研究所活動支援
【企業名】 九州機販株式会社
【金額】 300,000円

しいのみ学園創設者 昇地三郎先生を送る会



昇地三郎先生 (享年107歳) は、当時まだ未開発であった脳性麻痺児のための治療教育分野を切り拓く施設として、昭和29年に精神薄弱児 (現在は知的障害児) 施設「しいのみ学園」を創設されました。我が国の障害児教育の先駆的役割を果たされ、後進のための道を拓き、中国、韓国の障害児教育の発展にも寄与されました。長年ご尽力された先生の功績を偲び、ここに謹んで哀悼の意を表し、ご連絡いたします。

昇地三郎先生 (享年107歳) は、当時まだ未開発であった脳性麻痺児のための治療教育分野を切り拓く施設として、昭和29年に精神薄弱児 (現在は知的障害児) 施設「しいのみ学園」を創設されました。我が国の障害児教育の先駆的役割を果たされ、後進のための道を拓き、中国、韓国の障害児教育の発展にも寄与されました。長年ご尽力された先生の功績を偲び、ここに謹んで哀悼の意を表し、ご連絡いたします。

研究等により生化学、薬理学の発展に寄与するとともに、本学図書館長として西1号館新図書館の設計に携わり、家政学部食物栄養学科長在任中には大学院栄養科学研究科の設置に尽力されるなど、本学の発展に多大な貢献をされました。平成15年3月に定年退職されるまでの約40年の長年に亘る教育・研究の業績と本学の発展のために尽くされた功績が高く評価され、今回の叙勲となりました。

山藤先生の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

フラダンス講習会

「フラダンスサークル マウ・ケ・アロハ」

平成25年12月14日、城南公民館で校区の子どもたちを対象にした公民館講座「フラダンス講習会」が行われました。この講座は、城南公民館子ども会の健全育成事業の一環として開催され、本学のフラダンスサークル、マウ・ケ・アロハの学生が講師となり、城南校区の児童とフラダンスを通して交流を深めました。学生たちが講師となりフラダンスを教えるのは今回が初めてでした。最初は緊張した様子の学生たちでしたが、基本ステップや手の動きなど、一つひとつの表現と意味を丁寧に紹介しながら教えていました。最後には「パーリースェル」の曲に合わせて実際にフラダンスの踊りにも挑戦し、発表会を行いました。フラダンスを体験した子どもたちは、「緊張したけど、上手く踊れて良かった」と感想を話してくれました。代表学生は「フラダンスを教えることで、私たちも成長できました。フラダンスを知ってもらえてとても嬉しいです。また会った時には声をかけてください」と話し、地域の子どもたちとの触れ合いは貴重な経験になったようです。



教員の出版物

著者は、本学教員のみ記載。
() 内は出版社、発行年月



「抗がん薬の臨床薬理」

中野 修治 栄養科学部・教授 共著
小野 美咲 栄養科学部・助手
(南山堂 平成25年10月)



「『カリマネ』で学校はここまで変わる」

田村 知子 栄養科学部・准教授 編著
(ぎょうせい 平成25年11月)



「English for Tourism101 一から学ぶ観光英語の基礎 一日本から世界へ」

津田 晶子 食物栄養学科・講師 共著
(南雲堂 平成25年11月)



「福岡博覧」

松隈 紀生 食物栄養学科・教授 共著
(海鳥社 平成25年11月)



中村学園は
おかげさまで
60周年

NAKAMURA

Open Campus

Spring 2014

予約
不要

入退場
自由

服装
自由

保護者の方
も大歓迎

2014
3/15 土
open 10:00 close 15:30

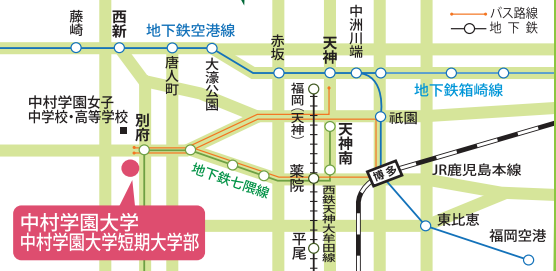
春のナカムラで
新しい未来探し!

Program

説明会	保護者対象入試説明会 生徒対象入試説明会
相談会	学部・学科相談コーナー 学生生活・就職・入試相談
イベント	模擬授業(栄養系・教育系・企業系) 在学生との交流・キャンパスツアー クラブ・サークル紹介 寮の自由見学 など

※このプログラムは予定です。詳しくはホームページで確認して下さい。

Access



地下鉄七隈線天神南駅から徒歩9分という近さ。
都市部に位置し、利便性もバツグンです。

中村学園大学
中村学園大学短期大学部

駐車スペースがありませんので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。



中村学園大学
中村学園大学短期大学部

【お問い合わせ先】 入試課/〒814-0198 福岡市城南区別府 5-7-1
【TEL】 092-851-6762 (入試課直通)
【E-mail】 nyushi@nakamura-u.ac.jp 【URL】 http://www.nakamura-u.ac.jp/

園児募集中

定員になり次第締め切らせていただきます。
詳細は各園にお問い合わせください。




● 中村学園大学附属あさひ幼稚園
〒814-0105 福岡市城南区城西団地 9 番 1 号
【TEL】092-831-6291
【URL】http://www.nakamura-u.ac.jp/~asahi/




● 中村学園大学附属壱岐幼稚園
〒819-0043 福岡市西区野方 2 丁目14番43号
【TEL】092-811-6831
【URL】http://www.nakamura-u.ac.jp/~iki/

広報誌セロリの定期購読について

定期購読をご希望の場合は、購読料（2 年分）として郵便小為替1,200円分と、郵便番号・住所・氏名・電話番号を書いた紙片を同封のうえ、学事課宛にお送りください。なお、広報誌の発行は、年 4 回（4・7・10・1 月）となります。
※保護者の方には毎号送付しています。

【申込み先】 〒814-0198 福岡市城南区別府 5-7-1 中村学園大学 学事課「広報誌定期購読申込」係